

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 大垣特別支援学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和4年12月16日(金) 10:00~12:00
- 3 開催場所 大垣特別支援学校会議室
- 4 参加者

| | | |
|-----|--------|-------------------|
| 会長 | 後藤 悦子 | 障がい者相談支援事業所ゆう 所長 |
| 副会長 | 伊藤 三枝子 | 清流の国ぎふ女性防災士会 会長 |
| 委員 | 石丸 明美 | 大垣市くすのき苑 係長 |
| | 岡田 浩 | 大垣共立銀行 江並支店 支店長 |
| | 片方 美希子 | 大垣特別支援学校PTA役員 |
| | 川端 誠 | 大垣公共職業安定所 統括職業指導官 |
| | 国枝 由道 | 上笠自治会 会長 |
| 学校側 | 松原 勝己 | 校長 |
| | 桐山 泉 | 事務部長 |
| | 高木 靖 | 小中学部教頭 |
| | 福島 洋之 | 高等部教頭 |
| | 佐藤 鈴子 | 小学部主事 |
| | 寺井 聡 | 高等部主事 |
| | 橋浦 夏子 | 教務主任 |

5 会議の概要

- (1) 当校の働き方改革について
 - ・当校の具体的な働き方改革について、説明する。
- (2) 創立50周年記念事業について
 - ・来年度に行う創立50周年記念事業について説明する。
- (3) 各部の取組及び学校祭「おとばフェスタ」について
 - ・これまでの学校、学部行事について説明する。
- (4) 校内施設等の見学・授業参観
- (5) 指導・高評

意見1 出退勤管理システムが、職員の自己申告を前提としている点が問題ではないか。パソコンの起動のログ管理による方法が妥当ではないか。また、金融機関では、超過勤務に対する罰則規定もある。

意見2 本質的な課題として、「業務の平準化」が重要である。銀行の事例で言えば、業務内容を見直し、パートタイマーの退勤時刻を境として、人手の多い時間帯に業務を移動させたことで改善が図られている。

- 意見3 ハローワーク（厚生労働省の機関）として、「働き方改革」の推進は当然であるが、やはり「業務の平準化」がポイントとなる。その他として、遅延承認や各種休暇の有効利用が重要である。
- 意見4 業務の見直しには、面談により仕事量の調整を図っている。職員一人一人の意識改革が重要である。
- 意見5 製品について、SDGsの視点を取り入れる。キャラメルポーチは「バックの中に防災グッズを入れませんか？」などのキャッチコピーを入れる。また、防災の観点でハンズフリーを考慮して、リュックの制作をしてもらえたら防災の視点で紹介することができる。
- 意見6 記念式典の会場となる大垣市民会館は、令和5年度末で解体予定の施設であるが、防災上、緊急時の対応は具体的に想定しているか。（防災士として）想定してほしい。
- 意見7 おおとばフェスタについて、子どもたちの学びがさらに高まるよう期待したい。Chuストアでは品切れとなったことが残念。学校行事（体育祭等）の参観ができるように工夫を重ねてほしい。
- 意見8 ハローワークでは面接会を実施し、企業を対象に授産製品の物販を行ったが、好評を博した。本校の製品も、もっと広めていただきたい。そのために、企業が来校して参観する機会を設けることが重要と考える。
- 意見9 学校評価アンケートの項目については、回答しづらい項目がある。学校運営委員用のものが用意されるべきでは。
- 意見10 学校行事等、学習活動に係る情報発信の仕方を工夫してほしい。
- 意見11 コロナ禍ではあるが、できることを工夫してほしい、今後の学校教育の更なる充実を期待したい。

6 会議のまとめ

- ・当校の働き方改革について理解を得、さらに業務の平準化に向けた取組に努めていく。
- ・学校行事や作業製品の販売等、できることを工夫して行い、情報発信を積極的に行っていく。